

第96号  
 秦野市民生委員児童委員協議会  
 発行人 熊澤道子  
 編集 広報部  
 連絡先  
 〒257-0054 秦野市緑町16番3号  
 TEL 0463 (84) 7711

# 秦野市の振り込め詐欺の現況

## 秦野市役所くらし安心部地域安全課

皆さんのご家庭に、振り込め詐欺の前兆電話（アポ電）が、かかってきたことはありませんか？

もし、ある方がいらつしやったら、「怪しい！絶対に騙されないぞ」もしくは、「ウソでしょう…？」でも、本当かもしれない…と、いろいろな気持ちを抱いたのではないのでしょうか。

さて、今回は、「振り込め詐欺」について取り上げます。本市では、どれくらい被害が発生しているのでしょうか。

### ◆市内の振り込め詐欺の現況

「振り込め詐欺」の被害状況ですが、昨年の平成30年は市内で40件発生し、被害総額は1億944万円でした。その前年である平成29年は39件発生、約5623万円でしたので、被害件数こそ、ほとんど変わらなかったものの、被害総額はなんと約5321万円も増加してしまいました。つま

り、昨年はその前年の倍近い額をだまし取られてしまったことになりま

す。当課は、平成25年にも、この「まなざし」にて記事を寄稿しています。が、当時の記事では、平成24年の被害件数と被害総額がそれぞれ5件と約1050万円であったとお伝えしています。

お分かりいただけるように、平成30年は40件、約1億944万円です。ので、「振り込め詐欺」の被害は、年々着実に増え続けてしまっているのです。

### ◆現在の振り込め詐欺は「振り込ませない」？

ここで、現在、主流になっている振り込め詐欺について説明します。その名も「キャッシュカード手交型」というものです。あまり、この呼び名にピンとこないという方も多いのではないのでしょうか。しかし、近年、着実に増えて

きている詐欺ですので注意が必要ですよ。

皆さんが思い浮かぶ振り込め詐欺は、まず、電話がかかってくる、「母さん？オレだよ、オレ」と、息子などをかたり、いろいろな理由でお金を振り込んでほしいとウソをついて、お金を振り込ませる手口を想像されると思いますが、現在は、犯人が直接自宅までやってくる手口が主流になっています。

つまり、現在の詐欺は、振り込ませず、なおかつ大胆にも自宅までやってくるのです。

### ◆「言葉巧み」に「不安を煽る」

さて、この「キャッシュカード手交型」ですが、先ほど、振り込ませず、自宅までやってくるという説明しましたが、どのような話術で騙しているのでしょうか。



この手口は、まず、市役所や銀行の職員、および警察官などを装って電話をかけてきます。そして、その会話の中で、「あなたのキャッシュカードが古いので、医療費の還付手続きが出来ない」、「あなたのキャッシュカードが偽造・不正利用されている」と不安を煽り、「新しいカードの変

更手続きが必要なため、古いカードを預かりにこれから自宅まで行く」と説明し、自宅までやってくる、キャッシュカードを騙し取るといった流れです。

もちろん、キャッシュカードですから銀行やコンビニのATMでお金を引き出す際は、暗証番号が必要で

す。よって、暗証番号が分からなければお金を取られることはありませんが、犯人が自宅までやってくる際に、「申し訳ないが、本人確認のため、暗証番号を聞き取る必要がある

るので教えて欲しい」などと、言葉巧みに暗証番号を聞き出させてしまえば、お金を騙し取ることが出来てしまうのです。

そして、その後、被害者はいつまでも経っても新しいカードが届かないため、銀行に問い合わせたところ、騙されたことにやっと気付く、というわけです。

### ◆今日からできる特殊詐欺防止のための対策

●留守番電話設定  
 これは、秦野警察署が一番オススメしている対策です。キャッシュカード手交型が主流になり、犯人が直接自宅にやってくるケースが多くなってきたと言っても、犯人からのアプローチは「電話（アポ電）」であることは、今も変わり

はありません。

犯人は何より、自分の声が「留守番電話に録音されてしまう」ことを一番嫌います。

そこで、ナンバーディスプレイ機能が付いた電話をお持ちの方は、知らない相手から電話がかかってきた場合は、そのまま出るのはなく、留守番電話で相手を確認することをオススメします。

●迷惑電話防止機能付き電話機の購入

こちらにも、秦野警察署オスメの対策の一つです。この電話機のポイントは、登録していない電話番号からの着信時に、「この通話は、迷惑電話防止のために録音されます」といったように、相手に録音する旨を伝える機能が付いています。

◆架空請求はがき

今まで、キャッシュカード手交型のことについて、説明してきましたが、最近、非常に多く出回っている「架空請求詐欺」についてお話しします。「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」と印字された官製はがきが自宅に送られてきた方はいらっしやいませんか？

最近、大変多くの方より、「このようなはがきが送られてきた」という情報をいただいています。独立行政法人国民生活センターに

よりますと、平成29年3月より、このようなはがきについての相談が全国的に急増したとのことですが、これは、詐欺の一つである「架空請求」です。

そして、「連絡がない場合は、裁判所があなたの資産を差し押さえる」や、「訴訟取り下げ期日は、はがきが届いた翌日」といったような不安を煽る文章になっていますが惑わされず、無視してください。

なお、記載され一いる郵送元の組織名や住所は存在しないことが多いことから、記載された電話番号にくれぐれもかけ直すことはしないでください。

◆秦野市地域安全課よりお知らせです！

地域安全課は、秦野警察署生活安全課と協力し、市内の自治会、長寿会及び高齢者福祉施設といった方々に向けて防犯講話（出前講座）を実施しています。市内でどのような犯罪がどれくらい発生しているかなど、わかりやすくご説明します。

また、今回取り上げました特殊詐欺の被害状況はもちろん、キャッシュカード手交型詐欺について、犯人・被害者役に分かれて寸劇で披露し説明しております。詳しくは地域安全課（直通84-9625）までお問い合わせください。

令和元年度民児協総会開催

5月15日（水）秦野市保健福祉センターで、午後1時30分より市民児協総会が開催されました。

市民児協丸山副会長の司会で始まり、本総会は会員260名中、出席者235名で成り立ちました。

北民児協北村会長の音頭により全員起立して、民生委員児童委員信条と児童憲章を唱和しました。

市民児協熊澤会長の挨拶に続き、来賓の祝辞を、高橋秦野市長、藤村市社会福祉協議会会長よりいただき、来賓の紹介を行い議事に移りました。議長には本町民児協の鈴木委員が選出されました。



第1号議案、平成30年度事業報告を、西民児協相田会長が、第2号議案、平成30年度決算報告を、末広民児協水流会長が説明し、2議案とも拍手で承認されました。続いて、第3号議案、令

和元年度事業計画（案）を、渋沢民児協石川会長、第4号議案、令和元年度収支予算（案）を、広畑民児協北村会長が説明され、ともに拍手で承認されました。

休憩の後、研修会が始まりました。日本笑ヨガ協会のキンモント早苗氏を講師に迎え、「笑ってこころもからだもリフレッシュ」と題して講演をいただきました。



「笑いは百薬の長」と、昔から言われますが、笑いが免疫力を高めます。その後先生の指導により、体操や呼吸法を組み合わせた「笑いヨガ」を楽しみながら体験しました。

笑うことにより、緊張が取れ、笑顔で接することができれば人間関係も良くなり、自然と会話が進むことが分かりました。笑いが全ての人を明るくすると実感しました。

### いわき市平地区の

## 民児協を訪問して

鶴巻民児協

鶴巻民児協では、研修旅行として、昨年10月25日、福島県いわき市平地区第8方郡民生委員児童委員協議会を訪問しました。

今回の研修は、私どもの定例会などで「県外の民児委員と意見交換会を行ってみたい」などの意見があり、震災後7年経ってもまだまだ問題があるとの情報等から、この地域の民児協を選定し実施しました。

まず、第8方郡民児協会長から、地域の環境等について説明があり、この地域は、最も沿岸部にある地域で、「塩屋崎岬」や、「真つ白な鳴き砂」で有名な地域とのことでした。

そして、この地区を民児委員8名、主任児童委員2名が担当し、活動を行っているとのことでした。

震災当日（2011年3月11日）

は、地区民児協定例会当日であり、その会議終了後、地震の発生に伴い、2名の民児委員の方が、高齢者方等を見守り中、津波により亡くなられているそうです。また、地域では約600世帯中270世帯が被災し、120名の方々が亡くなられたとのことです。

次に、副会長から、動画・写真・ネルなどで「震災状況」や「復興状況」の説明がありました。

そして現在も、民児委員が、災害公営住宅に居住しながら見守り活動等を行っているとのことでした。

それに、ある保育園では、震災の前日、たまたま「避難訓練」を行っていたことなどで、園児らの避難行動がスムーズで被害がなかったとのことですが、ただ、心のケアには、2年余りもかかったとのことでした。

また、現地では、被災後7年7か月経った今も、復興後の地区では、住民構成も経済状況も大きく変わり、特に新しい住民との関係を、どのように築いていくかが課題であるとのことでした。

今回の研修では、時間の関係で掘り下げた意見交換ができませんでしたが、要支援者の安否確認等多々考えさせられました。

今後、他地区民児協の方々と意見交換会を行い、より充実した活動を推進したいと思っております。

す。



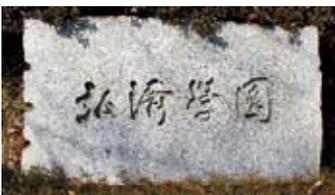
### 未就園児らとのジャガイモ

## 植え付け活動について

大根民児協

私どもは、10数年前から年間行事である「地域未就園児のふれあい体験活動」の一環としてジャガイモの植え付け・収穫活動を行っております。

これまで、地域協力者の畑を使用しておりましたが、諸般の事情により、今年から、福祉型障害児入所施設（弘済学園）の畑を使用させて頂き活動を進めることにしました。



3月18日（月）午前9時30分から午前11時までの間、天候に恵まれ暖かい青空の下で実施しました。

参加者は、コミュニティ団体15名（大人7名・子ども8名）、学園長等4名、学園ボランティア7名、大根

地域高齢者支援センター1名、民生委員6名の計33名でした。

植え付け作業は、学園農園ボラン

ティアの方が耕し、畝に造られた穴に、学園の先生方の説明どおり親子で順次植え付けていきました。小さなバケツに入れた種イモを、掘られた穴に植えて、シャベルで土を被せる親子作業で6畝に100個を植え付けることができました。

3歳前後の子どもたちの集中力は物珍しさもあってか、それはそれはなかなかのものでした。尻もちをつきながら泥まみれになって、ジャガイモの植え付けに夢中な姿には、自ずと頬の緩むことも多々ありました。

作業終了後、



母親たちは、畑の傍らに設置されている温室の花々に魅せられ、喜んであれこれと購入しておりました。また、「こんな施設が、身近にあることを全く知らなかった」と口ぐちに話し、興味しんしんの様子でした。

今回、この活動に施設入所者の参加が得られませんでした。今後に期待するところです。

そして、この収穫したジャガイモは、例年どおり、平塚児童相談所に持ち込み、入所者の食材の足しにして頂く予定です。

# 湧水

## 渋沢地域高齢者支援センターの紹介

### はじめに

平成27年1月「渋沢地域高齢者支援センター」が、秦野市から委託を受けた7番目の包括支援センターとして設置されました

- ・(所在地) 渋沢1124-5)。
- ・担当地域は、渋沢・千村・萩が丘・曲松・平沢
- ・柵窪となります。



### 地域高齢者支援センターとは

高齢者(65歳以上)の、総合的な生活支援の多様な相談を受け付ける窓口となり、必要な支援に繋いでいきます。

また、介護保険サービスのみならず、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動、地域の支えあい等の多様なサービスに結びつけていくことも、重要な仕事のひとつになります。

現在、渋沢地域高齢者支援センターには、社会福祉士4名、主任介護

支援専門員1名、保健師等1名、実態把握担当者1名の計7名が在籍し活動しています。

また、秦野市では平成30年4月から、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるような、地域づくりを推進する「認知症地域支援推進員」、地域の課題を把握し必要としているサービスとのマッチング及び開拓と担い手養成などをおこなう「生活支援コーディネーター」が各1名配置されています。



### 新たな取り組み

本年1月に曲松地域で、多くの方々の協力を得て、行方不明や事故

を防止する目的の「声かけ訓練」を開催しました。参加者は、認知症の住人に扮した人に声かけをしたりして、安心させる声かけや見守る姿勢の大切さを体験出来ました。今後の超高齢化社会を見据えて、増えにくだろう認知症を地域住民と一緒に考えることは始めての取り組みとなりました。

また、単発ではなく今後も継続しておこなっていく必要があるという声が多くあり、本年度も実施に向けての話し合いを行っています。

平成31年4月26日から支援センター駐車場に於いて「はだのさわやか体操」を、毎週金曜日、朝9時から実施しており、毎回30人以上の方が集まり、健康づくりに励んでいます。

体操後は、お茶を飲みながら和やかな雰囲気でご相談されており、センター職員が随時各種ご相談もお受けしています。その他、近所の農家で採れた新鮮な野菜や梅干しなどの直売もあり、参加者の楽しみのひとつになっています。今後も、地域にかかわらず、多くの方にお立ち寄り頂ければと思っています。

### おわりに

「お互い様をコーディネート」をモットーに、より良い地域にするべく、取り組んでいきたいと思えます。

## 秦野市の水道水

秦野市水道の3本柱は①「安全」・水道水の検査を毎日欠かさず実施している。②「おいしい・名水秦野」・ミネラル豊富な地下水である。③「安い」・東京、神奈川の自治体の中でも安い水道料金である。

また、市内の「水道水」の約72%が地下水ルート(取水場38箇所)で、約6%が川の水ルート(取水場3箇所)とのことです。

さらに、平成28年、環境省が行った「名水百選」では、「おいしさ」がすばらしい名水部門で、第1位に選ばれているそうです。

\*8月1日〜8月7日・水の週間(市・上下水道局などの資料から)

### 編集集後記

5月1日、元号が「平成」から「令和」となり、最初の民児協だより「まなざし第96号」の発行です。

マスコミ情報によると、国民は「平成」時代に戦争が無かったことに安堵し、「令和」時代も平和で平穏であることを望んでいるようです。

私ども「まなざし」の紙面構成に特別な変更は有りませんが、広報部員一同、気持ち新たに取組んで参りたいと思っております。読んでいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。